



ほたる舞う学び舎

令和3年度 4月号

学校だより



あきる野市立一の谷小学校 校長 池戸龍一

い	命・人権・平和を大切に
ち	力いっぱいがんばり
の	伸び伸びと
た	楽しく活動
に	ニコニコ笑顔の絶えない
	「いちのたに」の子

感謝の気持ちで ピンチをチャンスに

校長 池戸 龍一

先月の卒業式には満開となった一の谷の桜がこの日を待っていたかのように校庭に舞う中、23名の新入生が入学し、全校児童163名で令和3年度の一の谷小学校がスタートいたしました。お子様の御入学・御進級、誠にありがとうございます。

今年度こそは、と期待したものの、未だコロナの収束は見られない中でのスタートとなりますが、新型コロナウイルス感染予防対策に努めながら、昨年度の実践を活かして、次の時代を見通した新しい教育実践に挑戦し、一の谷小学校の子供たちが健やかに成長できるよう、全職員が心一つにして全力で取り組んでまいります。



地域の思いが込められて咲く一の谷小の花々

今年度のスタートに当たり、学校経営のスローガンとしての3つの柱を立てました。

- ① 「行きたい・行かせたい・働きたい」学校の実現（充実した教育活動を実践します。）
- ② 家庭・地域への発信（積極的に教育活動等情報を届け、対話のある連携を重視していきます。）
- ③ グローカル視点をもった教育実践（未来に生きる子供たちにグローバル&ローカルの両視点を育成する教育活動に取り組んでいきます。）

本日は、始業式と入学式において、全校児童に、「**ありがとう**」や「**おはよう**」のあいさつが飛び交う学校にしよう！」というお話をしました。

コロナ禍で、私たちの「**当たり前**の生活」が奪われました。しかし、「**当たり前**」の逆の言葉は、「**有り難い**」となります。つまり「**ありがとう**」という感謝の気持ちです。



感謝の気持ちは、謙虚な心を生み、負けない心を育てます。その負けない心からは、先行きが不透明な未来に生きる子供たちに、新しく、そして力強い力が生まれてくることを確信しています。

どうか、大切な未来の宝である子供たちのため、昨年度に引き続きまして、保護者・地域の皆様のお力添えをどうぞよろしくお願い申し上げます。